

西尾張分区 I M (2月25日の例会変更)

2015年2月7日(土) 第1483回 例会

会場/名鉄ニューグランドホテル 点鐘/18:00 ホスト/一宮ロータリークラブ

I M開催にむけて 一宮RC I M実行委員会

今年度、近藤雄亮ガバナーは方針として「集まろう 語ろう 楽しもう」を掲げられました。今までのIMは、時には荘重かつ研修的であり、ややもすれば形式を重視された雰囲気の中での開催が主流でありました。

野杵章夫ガバナー補佐は、ガバナーの方針を受け、今までのIMの姿から少し離れて、ロータリーの理念の一つである「親睦」を中心に捉えたIMを、という発想を提起され、模索が始まりました。今年度はシンプルで温かな雰囲気でのIMです。参加者の一人一人がふれあい、語り合い、楽しむことを最重点において企画を立てました皆さん思い切り楽しんでください！



京都から舞妓さん



ご挨拶 野杵章夫ガバナー補佐



パストガバナー皆さまお元気でした

I M感想 尾張中央RC 会長 山下隆義

一宮ロータリークラブ主催のIM(Intercity Meeting)(市連合会)の目的は、近隣のクラブが共通のテーマで語り合い、研鑽の輪を広げる機会としての会合です。殆どのIMは、フォーラムと懇親会がセットで行われております。地区ガバナーの自由裁量によって行われております。過去には、新人会員、若手会員による、ロータリー入会経緯と感想或いは職業紹介の発表。各RCの会長或いは、各RCの年長会員により一定のテーマに対して討論会を行ったことも有りました。

西尾張分区9クラブの約450名が一同に会して行われる分区最大のイベントです。今年度は、ガバナー方針の「集まろう・語ろう・楽しもう」でありましたので、野杵ガバナー補佐の配慮もあり、勉強会、研修会、討論会等も無く、懇親会のみでした。会長、幹事は苦勞しなくて済みました。然し、こうしたIMは多分初めての経験でしたが、いきなり、乾杯、料理を頂きながらの懇親会も中々粋な方法ではないかと思いました。

京都の舞妓さんとの記念写真等目出度く、珍しい光景がこちらこちらで見受けられました。我が尾張中央RCは、テーブルを確保して大いに語りあうことができました。又、舞妓さんとの記念写真を一同で撮ることができ、それなりに盛り上がっていました。まさに、「集まろう・語ろう・楽しもう」でした。RCの会員であったからこそ体験できました。出席できなかった会員の方は、チョット残念だったと思えます。ロータリー生活をエンジョイする機会を逃さないようにしましょう。間もなく尾張中央RCのホストの順番がやってきますが、その機会には、喜んでもらえるように皆さんで協力しあって頑張りましょう。



ロータリーは親睦を第一義とする 今回のIM